



加法混色概念図

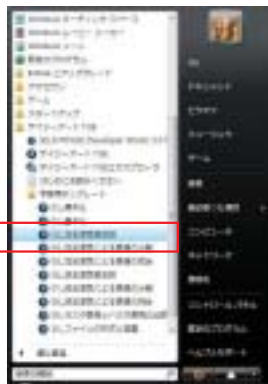
光の三原色RGBは、それぞれRed(赤)、Green(緑)、Blue(青)を表しています。光の色はこの3色の光をさまざまな強さで混ぜ合わせることによって、あらゆる色を表現することができます。パソコンやテレビ(液晶)の画面の色もRGBの3色の掛け合わせで作られています。RGBの3色の光は、一番明るい状態(100%)で混ぜ合わせた状態が白、一番暗く(0%)したときが黒になります。これを加法混色と言います。加法混色という名称は、色を表すのに黒に光を加えて明るさを足す足し算方式からきています。



RGBの強さは、10進法表記で0～255の数値で表されます。たとえば白は、RGB=255、255、255(RGBの色が最も強い場合)となり、逆に黒はRGB=0,0,0(光がない場合)となります。最大で $256 \times 256 \times 256 = 16,777,216$ 通りで、いわゆるフルカラー(1670万色、24ビットカラー)です。

テンプレートの起動方法

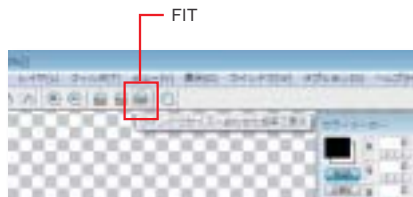
- 1 Windowsのタスクバーにある「スタート」ボタンをクリックします。
- 2 「スタート」メニューの「プログラム」「デイジーアート7SE」「学習用テンプレート」から「加法混色概念図」を選択します。
- 3 「加法混色概念図」を選択すると学習用テンプレートが起動します。



- ④ テンプレートが起動したら「最大化」をクリックし、画面を最大化します。



- ⑤ ツールバーの「FIT」をクリックし、テンプレートをキャンバスに合わせます。



操作手順と方法

- ① ツールバーの「レイヤの位置と倍率」をクリックし、レイヤマネージャの赤の円のレイヤを選択します。

赤の円のレイヤが青い枠で囲まれていることを確認します。レイヤマネージャ内のレイヤが青く囲まれた状態が、その画像を選択していることとなります。

- ② キャンバス上の赤の円をドラッグしキャンバスの中央に移動します。

- ③ 次にレイヤマネージャ内の緑の円のレイヤをクリックして選択します。同様にキャンバス上の緑の円のレイヤをドラッグしキャンバス中央に移動します。このとき、下図のように重ねます。

- ④ 最後に青の円のレイヤも同様に重ねます。

